



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場会社名 三共生興株式会社
 コード番号 8018 URL <http://www.sankyoseiko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 賢祥
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室ゼネラルマネージャー (氏名) 下川 浩一
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東大

TEL 06-6268-5188

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	7,800	4.3	233	51.3	343	7.4	60	△27.8
24年3月期第1四半期	7,476	△3.5	154	△39.7	320	△10.0	84	△38.5

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △934百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 232百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	1.34	—
24年3月期第1四半期	1.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	44,780	21,070	46.2
24年3月期	48,048	22,577	46.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 20,690百万円 24年3月期 22,194百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	12.50	12.50
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	12.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,000	1.0	800	△20.5	900	△18.5	500	△22.4	11.05
通期	39,000	1.2	3,000	2.6	3,200	2.3	2,000	10.6	44.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	60,000,000 株	24年3月期	60,000,000 株
25年3月期1Q	14,736,748 株	24年3月期	14,736,748 株
25年3月期1Q	45,263,252 株	24年3月期1Q	45,263,252 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景とする回復の動きが見られたものの、欧州債務問題の再燃による世界的な金融不安の拡大や為替の動向、電力供給の問題等、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く繊維・アパレル業界におきましては、消費マインドの好転などにより春物ファッション商材の一部に活発な動きが見られましたが、不安定な天候や消費者の価値観の多様化への対応などもあり、予断を許さない状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、各事業、各分野において多様化するライフスタイルや消費者のニーズを的確に捉え、ブランドを軸とした価値ある商品の企画・生産・販売に取り組んでまいりました。

また、海外事業につきましては、基幹ブランド「ダックス」を軸に台湾、香港を含む中国などアジアマーケットの深耕を鋭意推し進めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比4.3%増の7,800百万円、営業利益は前年同期比51.3%増の233百万円、経常利益は前年同期比7.4%増の343百万円、四半期純利益は投資有価証券評価損を計上したことなどにより前年同期比27.8%減の60百万円となりました。

なお、セグメントの業績は次のとおりであります。

ファッション関連事業

ファッションブランド商品の国内市場におきましては、ブランドの特性を活かした商品企画と効率的な納品体制の確立に努めた結果、概ね順調に推移いたしました。

「ダックス」を中心としたファッションブランド商品のアジア市場における販売におきましては、アジア経済全般が足踏み状況となる厳しい環境のなか、堅調な売上を確保するなど比較的健闘する結果となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比11.7%増の3,279百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べて98百万円改善の61百万円となりました。

繊維関連事業

アパレル企業向けのOEM事業におきましては、天候不順で衣料品市場全体の動きが鈍いなか、企画提案力のさらなる向上とクイックレスポンスの生産・納品体制の確立に努力いたしました結果、売上、利益ともほぼ前期並みとなりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比0.7%減の2,389百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比24.5%減の11百万円となりました。

生活関連事業

タオル、寝装、寝具などのリビング商品の販売におきましては、節電意識の高まりもあり、夏物の涼感寝具など高機能商品の開発に鋭意取り組んでまいりました。

ブランド商品の販売は概ね堅調に推移した他、産地物タオルが引き続き好調、快眠を導く枕の販売も順調に推移するなど増収増益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比3.5%増の1,945百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比39.3%増の81百万円となりました。

不動産賃貸事業

大阪の賃貸ビルをメインとして、東京、横浜、神戸等の不動産に係る賃貸事業は、市場の需給悪化の影響もあり稼働率が低下するなど、減収減益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比10.6%減の529百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比15.8%減の202百万円となりました。

その他

物流倉庫事業、ビルメンテナンス事業、内装工事業等の売上高は前年同期比7.1%減の328百万円、セグメント損失（営業損失）は6百万円（前年同期は2百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,893百万円(10.4%)減少し、16,311百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が1,839百万円減少、現金及び預金が466百万円減少した一方で、商品及び製品が452百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,374百万円(4.6%)減少し、28,469百万円となりました。これは投資有価証券が1,098百万円減少、商標権が238百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて3,267百万円(6.8%)減少し、44,780百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,212百万円(6.3%)減少し、18,106百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が561百万円減少、未払法人税等が464百万円減少、未払費用が452百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて548百万円(8.9%)減少し、5,604百万円となりました。これは繰延税金負債が373百万円減少、長期借入金が114百万円減少、長期未払金が62百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて1,760百万円(6.9%)減少し、23,710百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,507百万円(6.7%)減少し、21,070百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金が659百万円減少、剰余金の配当が565百万円あったことなどにより利益剰余金が505百万円減少、純資産から控除している為替換算調整勘定が323百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績につきましては、平成24年5月15日の決算発表時に公表いたしました、第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,401	4,934
受取手形及び売掛金	7,826	5,986
商品及び製品	4,375	4,828
仕掛品	16	5
原材料及び貯蔵品	149	169
その他	442	390
貸倒引当金	△7	△3
流動資産合計	18,204	16,311
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,703	9,637
土地	3,876	3,876
その他(純額)	531	563
有形固定資産合計	14,111	14,077
無形固定資産		
商標権	3,808	3,570
その他	168	166
無形固定資産合計	3,977	3,737
投資その他の資産		
投資有価証券	10,913	9,815
その他	1,577	1,575
貸倒引当金	△735	△735
投資その他の資産合計	11,755	10,655
固定資産合計	29,844	28,469
資産合計	48,048	44,780

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,520	4,959
短期借入金	10,594	10,620
1年内返済予定の長期借入金	484	459
未払費用	1,337	885
未払法人税等	616	151
返品調整引当金	250	148
その他	516	883
流動負債合計	19,318	18,106
固定負債		
長期借入金	1,065	950
長期未払金	624	561
繰延税金負債	2,897	2,524
退職給付引当金	600	606
長期預り金	773	717
その他	191	244
固定負債合計	6,153	5,604
負債合計	25,471	23,710
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	6,165	6,165
利益剰余金	18,377	17,872
自己株式	△5,235	△5,235
株主資本合計	22,308	21,803
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,384	2,724
繰延ヘッジ損益	△0	△16
為替換算調整勘定	△3,497	△3,821
その他の包括利益累計額合計	△113	△1,112
少数株主持分	382	379
純資産合計	22,577	21,070
負債純資産合計	48,048	44,780

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	7,476	7,800
売上原価	4,207	4,386
売上総利益	3,269	3,413
販売費及び一般管理費	3,115	3,180
営業利益	154	233
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	162	149
貸倒引当金戻入額	40	3
その他	33	14
営業外収益合計	237	168
営業外費用		
支払利息	29	27
為替差損	23	14
その他	18	15
営業外費用合計	71	57
経常利益	320	343
特別利益		
固定資産売却益	17	—
特別利益合計	17	—
特別損失		
投資有価証券評価損	8	87
出資金評価損	14	—
特別損失合計	22	87
税金等調整前四半期純利益	315	256
法人税、住民税及び事業税	122	166
法人税等調整額	100	24
法人税等合計	222	191
少数株主損益調整前四半期純利益	92	64
少数株主利益	8	4
四半期純利益	84	60

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	92	64
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△122	△659
繰延ヘッジ損益	△3	△16
為替換算調整勘定	266	△323
その他の包括利益合計	140	△999
四半期包括利益	232	△934
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	224	△938
少数株主に係る四半期包括利益	8	4

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ファッション 関連事業	織 維 関連事業	生 活 関連事業	不 動 産 賃貸事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	2,841	2,176	1,864	452	7,335	141	7,476	—	7,476
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	95	230	14	138	479	211	690	(690)	—
計	2,936	2,406	1,879	591	7,814	353	8,167	(690)	7,476
セグメント利益 又は損失(△)	△37	15	58	240	277	△2	275	(121)	154

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流倉庫事業、ビルメンテナンス事業及び内装工事事業等を含んでおります。

2 「セグメント利益又は損失(△)」の調整額△121百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△172百万円及びセグメント間取引消去等 51百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 「セグメント利益又は損失(△)」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ファッション 関連事業	織 維 関連事業	生 活 関連事業	不 動 産 賃貸事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	3,191	2,153	1,940	400	7,686	113	7,800	—	7,800
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	87	235	4	128	456	214	671	(671)	—
計	3,279	2,389	1,945	529	8,143	328	8,471	(671)	7,800
セグメント利益 又は損失(△)	61	11	81	202	357	△6	351	(117)	233

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流倉庫事業、ビルメンテナンス事業及び内装工事業等を含んでおります。
- 2 「セグメント利益又は損失(△)」の調整額△117百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△153百万円及びセグメント間取引消去等35百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 「セグメント利益又は損失(△)」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。